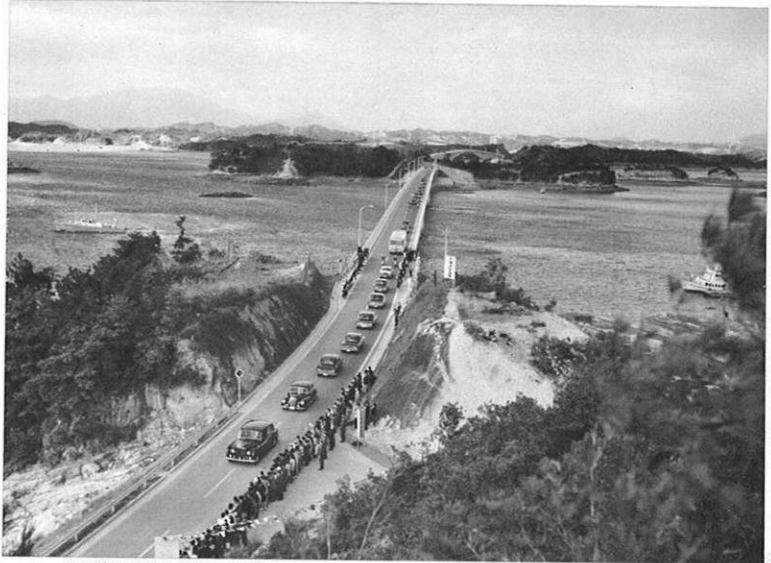




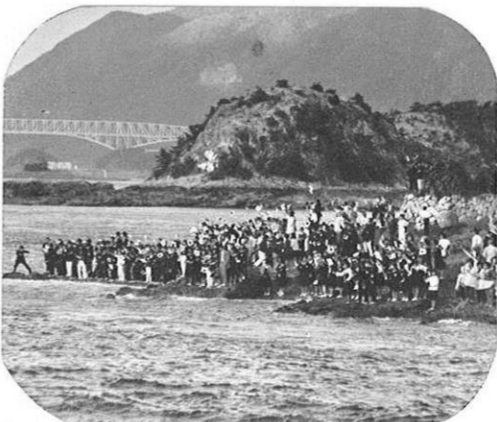
上・大矢野町の乳牛展示場で、牛の鼻をなでられる両陛下



上・天草五橋を渡るお車。
下・船上より天草五橋をご覧になる両陛下



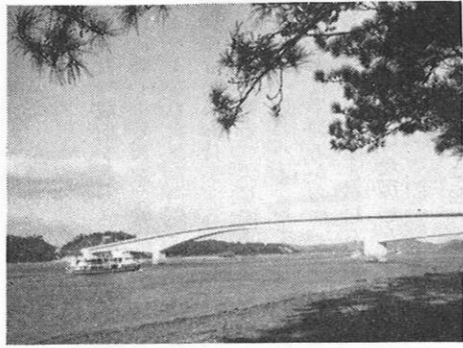
左・熊大臨海実験所では、生物の展示品にすっかりご満足。



上・14年ぶりに両陛下をお迎えした天草島民は小旗を手に島のいたるところでお待ちして...



上・3日間にわたる肥後路の旅を終えられた両陛下は歓呼に湧く熊本駅をご出発になった。



—お召船で天草五橋を—

ようこそ熊本へ！

—行幸啓日誌から—

第一日目

十月二十七日

ようこそ熊本へ—天皇、皇后両陛下をお迎えして、雄大な阿蘇の景観は、また一段と美しかった。

大分国体のご日程を終えられた両陛下は、この日の午後、秋の阿蘇路に熊本ご旅行の第一歩を印された。

午後三時二十一分、両陛下は阿蘇郡南小国村の瀬の本高原にある三愛レストハウスにお着きになり、寺本熊本県知事のお迎え、木下大分県知事のお見送りを受けられたあと城山展望所に向われた。朝からくもりがちだった空も、この頃には晴れわたり、展望所で両陛下は寺本知事の

県民所得の伸びは全国平均を上回る

昭和四十一年十月二十七日行幸啓に際しての奏上文

熊本県知事 寺本 広作

天皇皇后両陛下には、熊本県の願いを御聴届けの上、大分国体のあと、枉げて本県に御立寄り下さいまして、有難うございます。両陛下が本県に御滞在になりましたのは、昭和三十五年の熊本国体が最後でございますので、其の後の県勢の推移について申し上げます。

順調に進む災害復旧

最初に災害について申し上げます。球磨川上流、五木地方をはじめ、流域一帯が昭和三十八年から昨年まで、三年間連続災害を受けました際は、御軫念を煩わし御下賜金を賜り、一同深く感謝申し上げております。本年は幸い台風豪雨共に本県を外れ、県民は安堵の思いを致しております。お蔭様で復旧工事は道路、河川、治山、砂防各工事共、順調に進んでおりますので、これまで比較的遅れておりました農地の復旧に、これから力を注ぐ事が出来ると思っております。

労働力の確保へ

次に人口の事について申し上げます。本県の人口は昭和三十年の国勢調査による一八九万人がピーク

でございまして、昭和三十五年には、一八五万人となり、更に昨四十年の国勢調査では一七七万人に減少致しました。ピーク時よりも約一二万人減少した訳であります。これは第一には、人口の都市集中化によるものでありまして、県内でも熊本市は、最近の五カ年間に三万三、〇〇〇人の増加となっております。第二には農村地帯から工業地帯への人口流出によるものでありまして、最近の五カ年間に、本県の農村地帯から県外の工業地帯に転出した新規学校卒業者は、約八万人に達しております。このように県内に育った青年達が、多数、県外に流出しますことは、県勢の伸張を図る上からも、又、国全体の均衡ある発展を図るという立場からも、由々しい問題であると存じます。

産業基盤の強化も着実に

次に産業基盤の整備について申し上げます。先ず道路でございまして、九州横断道路及び国道五七号線は、本日御覧下さいました通り整備されました。大分、熊本両県間の交通は、著しく利便を加えました。鹿児島熊本間を結ぶ国道三号線も、改良舗装を終り、かつて西南の役に薩摩の部隊が難渋したと伝